

平成 26 年度

事業計画書

平成 26 年 4 月 1 日から
平成 27 年 3 月 31 日まで

公益社団法人 日本アマチュアオーケストラ連盟

I. 平成 26 年度 事業計画

公益社団法人 日本アマチュアオーケストラ連盟 (JAO) は、昭和 47 年の設立以来、全国のアマチュアオーケストラとその活動に携わる人々を支援する事業を推進してまいりました。

JAO の主な事業には、「全国アマチュアオーケストラフェスティバル」、「トヨタ青少年オーケストラキャンプ」、「トヨタコミュニティコンサート」、「高円宮殿下メモリアル日本マスターズオーケストラキャンプ」等があります。これらのどの事業も、《音の泉の広がり》を合言葉に、全国の仲間たちが演奏する喜びを分かち合いながら、各地のアマチュアオーケストラの振興を通じて、地域社会に貢献し、音楽文化の発展に寄与するものとなっています。

また、青少年から中高年齢層までの幅広い世代を対象とした JAO の事業は、青少年教育や、シニア世代のゆとりや生き甲斐作りに貢献し、生涯学習社会の形成に寄与することを特色としています。

平成 26 年度に実施する事業の計画は以下のとおりです。

I. 運営の部

1. 理事会

① 平成 26 年度第 1 回通常理事会 平成 26 年 4 月 26 日 (土) 於 上野精養軒

② 平成 26 年度第 2 回通常理事会 平成 27 年 2 月 28 日 (土) 於 上野精養軒

2. 社員総会

平成 26 年度定時総会 平成 26 年 5 月 24 日 (土) 於 上野精養軒

II. 事業の部

1. 全国アマチュアオーケストラフェスティバルの開催

「全国アマチュアオーケストラフェスティバル」は、JAO 設立の翌年 (昭和 48 年) の豊橋大会を皮切りに、毎年全国各地を巡り開催しております JAO の主要事業です。

オーケストラ音楽を愛好する人々が集い、3 日間の日程の中で演奏技術の研鑽を積み、フェスティバルオーケストラとして演奏会を開催するほか、オーケストラ運営に資するためのフォーラムや研究討議等を行います。

また、JAO はフェスティバルを国際交流の場とすることにも取り組み、海外参加者を集いアジアフェスティバルや世界フェスティバルとしての開催実績を積んでおります。

<平成 26 年度実施計画>

名称	第 42 回全国アマチュアオーケストラフェスティバル甲府大会
期間	平成 26 年 8 月 22 日 (金) ~24 日 (日)
会場	コラニー文化ホール (山梨県立県民文化ホール) 他
内容	<p>①オーケストラ演奏会 (8/24) ※ジュニアのみ 8/23 も公演あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ジュニアオーケストラのステージ 指揮：葉袋 貴 (山梨交響楽団指揮者) コンサートマスター：對馬佳祐 曲目：オッフエンバック作曲「天国と地獄」序曲 ハチャトゥリアン作曲 「仮面舞踏会」 ・ 社会人オーケストラ A のステージ 指揮：中田延亮 (スペイン、バレンシア在住、元 新日本フィル) コンサートマスター：ベンジャミン・ツィーアフォーゲル (スロベニア放送響) 曲目：R・シュトラウス作曲 交響詩「英雄の生涯」 ・ 社会人オーケストラ B のステージ 指揮：ベネディクト・ツィーアフォーゲル (マーラー音楽財団) コンサートマスター：ブルグハルト・トエルケ (シェーンブルン宮殿オケ) 曲目：R・シュトラウス作曲 交響詩「ツァラトストラはこう語った」 ワーグナー作曲 「ニュルンベルクのマイスタージンガー」 <p>②街かどふれあいコンサート JAO 加盟団体のメンバーの出演による市民交流イベント</p> <p>③運営協議会 県内視察および JAO 及び加盟団体の運営等に関する会議の開催</p>

2. マスターズオーケストラキャンプの開催

平成 12 年に第 1 回を開催した「高円宮殿下メモリアル 日本マスターズオーケストラキャンプ」(MOC) は、当初はシニア世代が交流を深めながら演奏技術を上させるための研修会として開催してまいりましたが、第 12 回より年齢による制限をはずし、各オーケストラの現リーダーや、次世代を担うリーダーを養成することも MOC の重要な役割となりました。

第 2 回 MOC にご来臨くださいました当時の JAO 総裁 故 高円宮殿下は、MOC に格別のご関心を示されておりました。MOC の前途に大きな期待を抱かれていた殿下のご意志を尊重し、MOC の名称に「高円宮殿下メモリアル」を冠しております。

<平成 26 年度実施計画>

名称	高円宮殿下メモリアル第 15 回日本マスターズオーケストラキャンプ
期間	平成 27 年 1 月 10 日 (土) ~12 日 (月・祝)
会場	京都府立府民ホール アルティ
内容	講師：森田昌弘 (Vn NHK 交響楽団) 御法川雄矢 (Vla NHK 交響楽団) 藤森亮一 (Vc NHK 交響楽団) 曲目：未定 ※最終日に「公開リハーサル」を開催し、一般に公開する。

3. 青少年オーケストラキャンプの開催

「トヨタ青少年オーケストラキャンプ」(TYOC) は、全国から集まった青少年が「自分たち自身の手による運営」をモットーに演奏技術を学ぶ合宿研修会です。現在は 2 年を 1 期とし、2 年目には「日本青少年交響楽団」演奏会として成果を発表しています。次代を担う青少年が一流の講師陣の指導のもと、音楽技術の向上を図り、各自の所属するオーケストラの未来のリーダーとなるべき資質を養います。

昭和 60 年の第 1 回から昨年の第 29 回まで、TYOC から巣立った青少年は延べ 5,000 名を数え、我が国のアマチュアオーケストラの中核を担う人材として全国各地で活躍中です。

<平成 26 年度実施計画>

名称	第 31 回トヨタ青少年オーケストラキャンプ
期間	平成 27 年 3 月 26 日 (木) ~29 日 (日)
会場	浦添市てだこホール (沖縄県浦添市仲間地内)
内容	指揮：未定 講師：三浦章宏 (Vn 東京フィル) 他 17 名 以上予定 曲目：未定 ※第 31 回は第 14 期の 1 年目、練習のみ。

4. トヨタコミュニティコンサートの開催支援

「トヨタコミュニティコンサート」(TCC)は、“音楽を通じて地域文化の振興に貢献すること”を目的に、トヨタ自動車株式会社並びに各地域のトヨタ販売会社グループと連携し、JAO加盟のオーケストラの公演を支援して開催される演奏会で、次の3つの方式があります。

A1方式は、地域ニーズを反映し、オーケストラにとってチャレンジングで、地域への広がり(市民参加等)を持つ企画内容の「チャレンジ公演型」コンサート。

A2方式は、山間部や離島あるいは福祉施設など生演奏を聴く機会の少ない方々のもとへの「移動・訪問型」コンサート。

B方式は、生演奏を聴く機会が少ない児童や高齢者、障害のある方などを招待する「招待型」コンサートです。

昭和56年の第1回開催から平成26年3月までの32年間の公演回数は、1459回を数えます。

平成26年度は、A1方式(チャレンジ公演型)3公演、A2方式(移動・訪問型)10公演、B方式(招待型)33公演の開催が予定されています。

5. ホームページを活用した広報活動の推進

JAOは、活動方針、年間事業、全国各地のオーケストラの活動状況、国際交流事業等、広範囲にわたる情報を収集し、ホームページにて提供しています。国内の地域活動はもちろんのこと、世界のアマチュアオーケストラに関するホームページにもリンクしています。

平成26年度も、会員及び提携する団体等からの情報収集に積極的に取り組み、収集した情報をホームページにて随時広く一般に提供してまいります。

6. 国際交流活動の推進

JAOは、平成10年の「世界アマチュアオーケストラ連盟」(WFAO)結成において中心的な役割を果たし、世界各国のアマチュアオーケストラの活動と交流を幅広く支援する組織として平成19年に設立された「認定NPO法人世界アマチュアオーケストラ連盟」(NPO-WFAO)とも積極的に提携し、国際交流活動を推進しております。

平成 26 年度は、「ドイツアマチュアオーケストラ連盟」(BDLO) と JAO との提携により、BDLO が主催する「オーケストラのためのワークショップ」(於 ドイツ連邦共和国・ヴァイマール 6 月開催) に JAO から 10 名が参加し、JAO が主催する「第 42 回全国アマチュアオーケストラフェスティバル甲府大会」に BDLO から 10 名の参加者を受け入れます。

また、NPO-WFAO の協力を得て、青少年を含むアジア各国のアマチュアオーケストラプレイヤー若干名が、「第 42 回全国アマチュアオーケストラフェスティバル甲府大会」及び「第 31 回トヨタ青少年オーケストラキャンプ」に参加する予定となっております。

平成26年度 公益社団法人 日本アマチュアオーケストラ連盟

収支予算書 (正味財産増減計算ベース)

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

(単価：円)

科 目	平成26年度	平成25年度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	(105,000)	(105,000)	(0)	
基本財産受取利息	105,000	105,000	0	定期預金利息
② 受取入会金	(60,000)	(120,000)	(▲60,000)	
受取入会金	60,000	120,000	▲60,000	新規2会員
③ 受取会費	(9,200,000)	(9,050,000)	150,000	
正会員受取会費	7,050,000	6,950,000	100,000	新規2会員
賛助会員受取会費	2,150,000	2,100,000	50,000	新規1会員
④ 事業収益	(14,550,000)	(14,341,700)	(208,300)	
公1事業収益	14,550,000	14,341,700	208,300	入場料・参加料・広告料等
⑤ 受取補助金等	(25,980,000)	(28,075,000)	(▲2,095,000)	
受取地方公共団体補助金	3,000,000	2,000,000	1,000,000	山梨県、甲府市
受取民間助成金	22,980,000	26,075,000	▲3,095,000	トヨタ自動車、ガスタックサービス他
⑥ 雑収益	(203,000)	(203,732)	(▲732)	
受取利息	3,000	2,232	768	
雑収益	200,000	201,500	▲1,500	懇親会費
経常収益計	50,098,000	51,895,432	▲1,797,432	
(2) 経常費用				
① 事業費	(44,844,000)	(47,391,910)	(▲2,547,910)	
役員報酬	2,880,000	2,880,000	0	
給料手当	2,760,000	2,725,000	35,000	
臨時雇用賃金	850,000	956,560	▲106,560	
福利厚生費	5,820,000	5,143,786	676,214	
会議費	794,000	778,883	15,117	
旅費交通費	11,060,000	13,266,053	▲2,206,053	
通信運搬費	1,290,000	1,760,853	▲470,853	
減価償却費	0	2	▲2	
消耗品費	1,540,000	1,240,333	299,667	
印刷製本費	830,000	987,856	▲157,856	
光熱水料費	170,000	170,000	0	
賃借料	6,860,000	7,740,410	▲880,410	
保険料	50,000	50,000	0	
諸謝金	8,280,000	8,178,019	101,981	
広報費	1,180,000	180,000	1,000,000	
雑費	480,000	1,334,155	▲854,155	

科 目	平成26年度	平成25年度	増 減	備 考
② 管理費	(6,210,000)	(5,527,401)	(682,599)	
役員報酬	720,000	720,000	0	
給料手当	840,000	825,000	15,000	
会議費	730,000	640,000	90,000	
旅費交通費	1,400,000	1,100,000	300,000	
通信運搬費	350,000	350,000	0	
什器備品減価償却額	0	1	▲1	
消耗品費	70,000	70,000	0	
印刷製本費	250,000	249,900	100	2014年度版JAO関係資料
光熱水料費	50,000	50,000	0	
賃借料	850,000	775,000	75,000	
保険料	40,000	38,000	2,000	労働保険料
租税公課	110,000	109,500	500	
雑費	800,000	600,000	200,000	含 TYOC記念誌購入代
經常費用計	51,054,000	52,919,311	▲1,865,311	
当期經常増減額	▲956,000	▲1,023,879	67,879	
2. 經常外増減の部				
(1) 經常外収益				
經常外収益計	0	0	0	
(2) 經常外費用				
固定資産除却損	(0)	(0)	(0)	
什器備品廃棄損	0	0	0	
經常外費用計	0	0	0	
当期經常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	▲956,000	▲1,023,879	67,879	
一般正味財産期首残高	7,300,467	8,324,346	▲1,023,879	
一般正味財産期末残高	6,344,467	7,300,467	▲956,000	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	44,400,000	44,400,000	0	
指定正味財産期末残高	44,400,000	44,400,000	0	
III 正味財産期末残高	50,744,467	51,700,467	▲956,000	

平成26年度 公益社団法人 日本アマチュアオーケストラ連盟

収支予算書内訳表（正味財産増減計算ベース）

（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）

（単価：円）

科 目	公益事業会計 （公1事業）	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
（1）経常収益			
① 基本財産運用益	(105,000)	(0)	(105,000)
基本財産受取利息	105,000	0	105,000
② 受取入会金	(0)	(60,000)	(60,000)
受取入会金	0	60,000	60,000
③ 受取会費	(0)	(9,200,000)	(9,200,000)
正会員受取会費	0	7,050,000	7,050,000
賛助会員受取会費	0	2,150,000	2,150,000
④ 事業収益	(14,550,000)	(0)	(14,550,000)
事業収益	14,550,000	0	14,550,000
⑤ 受取補助金等	(25,980,000)	(0)	(25,980,000)
受取地方公共団体補助金	3,000,000	0	3,000,000
受取民間助成金	22,980,000	0	22,980,000
⑥ 雑収益	(3,000)	(200,000)	(203,000)
受取利息	3,000	0	3,000
雑収益	0	200,000	200,000
経常収益計	40,638,000	9,460,000	50,098,000
（2）経常費用			
① 事業費	(44,844,000)	(0)	(44,844,000)
役員報酬	2,880,000		2,880,000
給料手当	2,760,000		2,760,000
臨時雇用賃金	850,000		850,000
福利厚生費	5,820,000		5,820,000
会議費	794,000		794,000
旅費交通費	11,060,000		11,060,000
通信運搬費	1,290,000		1,290,000
減価償却費	0		0
消耗品費	1,540,000		1,540,000
印刷製本費	830,000		830,000
光熱水料費	170,000		170,000
賃借料	6,860,000		6,860,000
保険料	50,000		50,000
諸謝金	8,280,000		8,280,000
広報費	1,180,000		1,180,000
雑費	480,000		480,000
② 管理費		(6,210,000)	(6,210,000)
役員報酬		720,000	720,000
給料手当		840,000	840,000
会議費		730,000	730,000
旅費交通費		1,400,000	1,400,000
通信運搬費		350,000	350,000
減価償却額		0	0
消耗品費		70,000	70,000
印刷製本費		250,000	250,000
光熱水料費		50,000	50,000

科 目	公益事業会計 (公1事業)	法人会計	合 計
賃借料		850,000	850,000
保険料		40,000	40,000
租税公課		110,000	110,000
雑費		800,000	800,000
経常費用計	44,844,000	6,210,000	51,054,000
当期経常増減額	▲4,206,000	3,250,000	▲956,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	(0)	(0)	(0)
什器備品廃棄損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額			
当期一般正味財産増減額	▲4,206,000	3,250,000	▲956,000
一般正味財産期首残高	1,128,826	6,171,641	7,300,467
一般正味財産期末残高	▲3,077,174	9,421,641	6,344,467
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	44,400,000	0	44,400,000
指定正味財産期末残高	44,400,000	0	44,400,000
III 正味財産期末残高	41,322,826	9,421,641	50,744,467